

様式第 7 号（第21条関係）

番 号

令和6年6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市八戸溝一丁目 1 0 番 1 8 号

団 体 名 社会福祉法人 佐賀いのちの電話

代表者職・氏名 理事長 松永 啓介

電 話 番 号 0952-34-4186

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和 5 年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第 1 項の規定により提出します。

-

令和5年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 社会福祉法人 佐賀いのちの電話
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

自殺のない佐賀県づくり。今般、新型コロナウイルス感染症による経済活動や社会生活への影響が拡大していることから、自殺リスクの高まりが懸念されている。佐賀いのちの電話では、苦しみや悩みを抱えている方からの電話相談を通じて、自殺防止に一役果たしている。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

・ゲートキーパー（命の門番）の養成。カウンセリング公開講座は、多くの県民にカウンセリングの基礎を学んで頂き、（18名受講）その一翼を担って頂けると期待している。相談員の継続研修は、相談員としての専門的な知識を学び、相談員のレベルアップにつなげることができた。また、佐賀県の自殺予防夜間相談電話を受託しており、それに対しても役立つことができた。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

5 寄附金活用事業実績 : (別記1)

6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)

7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
カウンセリング公開講座	①県民にカウンセリング公開講座に参加して頂き、専門の先生の講義に参加することにより、カウンセリングの基礎を学んで頂く。 ②一般の県民を対象。 ③大学教授、臨床心理士の先生を講師に11講座を実施。	①実施日時：5月～7月/9月～3月 ②実施場所：アバンセ（佐賀市）	905,797	407,587
相談員継続研修	①相談員の資質向上 ②相談員130名 ③講演会、研修会の実施	①実施時期：4月～3月 ②実施場所：アバンセ、事務局、公民館他	727,956	0
計			1,633,753	407,587

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
計			0	0

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		544,276
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	544,276
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	525,100
	前年度控除額(県事務経費)還付分	19,176
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		544,276
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	407,587
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	136,689
	返礼品等の調達に係る費用	80,118
	返礼品等の送付に係る費用	10,571
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	46,000

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

ホームページURL : <https://saga-lifeline-org>